

平成29年度 学校評価シート

| | |
|------|-------|
| 評価領域 | 進路指導部 |
|------|-------|

目標の設定 (Plan)

| | |
|------------|--|
| 重点目標 | 生徒一人ひとりの進路実現の達成。 |
| 現 状 | 生徒の進路意識は高いものではなく、学習習慣も身につけていない。 |
| 具体的な目標 | 大学入試に対応できる学力を養成する。 |
| 目標達成のための方策 | 授業、補習を通じた学習習慣の定着及び学力向上と進路行事による進路意識の啓発。 |

実践 (Do)

| | |
|----------|--|
| 具体的な取組状況 | 朝学習の徹底。 センター試験レベルの授業展開。学習オリエンテーション(1年)、補習(全員)、進路別ガイダンス等の行事の実施。 |
| 達成状況 | 進路行事は、看護医療系インターンシップ、県外大学見学会(1、2年) 県立大訪問(1年、2年理系)、進路別ガイダンス(2、3年)等を実情を考慮して実施した。進路分析会(1、2年)は2月、3月に実施予定。 |

自己評価 (Check)

| | |
|------|---|
| 評価基準 | A : 具体的な活動が示され目標を達成できた。 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。 |
|------|---|

| | | |
|------|----|------------------------------------|
| 自己評価 | 評価 | 根 拠 |
| | B | 国公立大学合格22人(2/13現在)である。就職は100%の達成率。 |

| | | |
|------------|----|---|
| 学校関係者評価と意見 | 評価 | 意 見 |
| | A | 新共通テストに対応できる進路体制を整えてほしい。アンケートの記述の多さは進路への期待である。アンケートを今後の指導に活かしてほしい。主体的に考える生徒を育成してほしい。国際教養大、秋田大看護に合格者を出し質の高い進路指導になっている。 |

改善した実践 (Action)

| | |
|-----------------------|---|
| 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策 | 生徒の学習意欲の向上や主体性の確立等、課題は多い。アンケート結果を分析、活用し、生徒も職員も意欲的に取り組むことができる授業、補習の工夫、進路行事の改善、充実を図る。 |
|-----------------------|---|